

ルワンダ職業訓練教室支援調査事業報告書 『ルワンダ職業訓練と未来へのヴィジョン』



特定非営利活動法人ピースビルダーズ
平成21年度外務省民間公益団体補助金助成事業

協賛:リコー社会貢献クラブ・FreeWill

※ピースビルダーズの運営する
フェアトレードカフェのロゴです。



- ・ 今回の調査に至るまで ……2
 - ・ 第一印象、どんな国?? ……3~6
 - ・ 職業訓練教室の紹介 ……7~8
 - ・ 生徒の皆さんの紹介 ……9~12
 - ・ 課題・ニーズ ……13~15
 - ・ 日本からできるサポート ……16~18
 - ・ 成果 ……19

今回の調査に至るまで

ルワンダでは1994年歴史上稀に見る大虐殺が発生しました。
(3ヶ月間で80~100万人の犠牲者が出たといわれています)

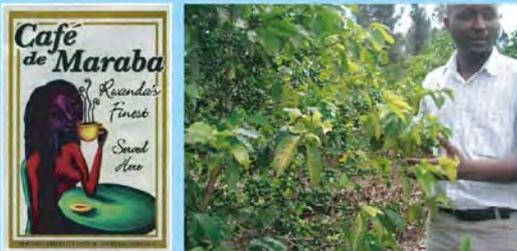
このため、現地社会は著しい打撃を受けました。

虐殺から16年を経た今も、人々の和解や、
立ち遅れてしまった開発を取り戻す努力が続けられています。

ピースビルダーズは、設立当初から数々の、ルワンダ支援事業を実施してきました。

◆ピースビルダーズの様々なルワンダ事業

- ・スペシャルティ・コーヒー
カフェ・マラバのフェアトレードベースでの輸入



- ・2005年の映画「ホテル・ルワンダ」招聘協力



- 日本語字幕・パンフレット監修・
主人公のモデルとなった
ポール・ルセサバギナ氏を招いて
シンポジウム実施

- ・2008年6月広島で最新のアフリカ映画の上映会
「リアル・アフリカ」開催。ルワンダ映画も紹介



- ・2008年9月ルワンダの職業訓練教室で
作られたエコバッグ「ピースバッグ」の
フェアトレード開始

◆渡航の目的

「ピースバッグ」を作成する職業訓練教室を調査し、より有効な支援や現地のニーズを把握すること。

◆様々なご支援

- ・外務省民間公益団体補助金の獲得
- ・リコー社会貢献クラブ・FreeWillの助成金獲得
(<http://www.ricoh.co.jp/kouken/freewill/>)
- ・多くの皆様のご寄付

第一印象、どんな国??

◆緑が豊か！



緑豊かな国ルワンダ

労働人口の実に90%が農業を営むこの国では、美しい畑が全土に広がっています。



◆美しい街！

首都キガリの中心部



・手入れされた街路樹、ゴミのない道路

（毎月最後の土曜日は、国民みんながコミュニティのためにボランティア活動をする日。
道路の掃除や虐殺被害者の家を建てなおすなどの活動を行います。）

・新しい建物も次々と建てられています。

◆そして高い物価・・・



100円= 約610ルワンダフラン
(2010年1月現在)



- ・国民1人当たりのGNI(国民総所得)は410ドル。物価上昇率は 17.4%(いずれも2008年統計)
- ・ルワンダ国内では産業が乏しいため、生活用品の多くは輸入品。
しかし、内陸国であることもあり、輸入品の値段がとても高いのが特徴です。

◆完全な内陸国



ウガンダ、タンザニア、ブルンジ、コンゴ民主共和国と国境を接する内陸国



キガリ市内で建築中の大きな建物。
建築系は中国系企業が目立ちます。



お店にはケニアやアラブ諸国などからの
輸入品が並ぶ。

◆どんな地域？

- ・ルワンダ北東部ニャガタレ郡カランガジセクター
- ・首都キガリからバスで約3時間
- ・ウガンダとの国境間近
- ・94年以降に国立公園を解放し、帰還民のために作られた町
- ・農耕が主なルワンダにあって、牧畜が盛ん
- ・新しい街なので虐殺の歴史がない

◆カウンターパート紹介

インターナショナル・ヒーリング・ミニストリーズ International Healing Ministries (IHM)

ルワンダの北東部、カランガジセクター、ニラジェジェンで青少年を対象にした職業訓練教室を運営。生徒数は約14名(2009年)。卒業生組織は約15名。

2007年 編み機教室開始

2008年 ミシン教室開始

2009年 ヘアサロン教室開始

- ・教室は2月～12月までの10ヶ月間
- ・授業料は年20,000FRW (5か月ごとに10,000FRW支払う)



ニラジェジェンの町の風景。
水道・電気のない地域です。



職業訓練教室



インタビューの様子

生徒の皆さんに、生活の中で改善したいと思うことや、ニーズ、将来の希望などについてインタビューしました。

生徒の皆さんのご紹介

生徒はいずれも20歳前後の青少年で、ほとんどが女性。
2009年にミシン・編み機・ヘアサロンを卒業したばかりです。
ほとんどの人が家で農業を営んでいます。

◆ミシン教室

(5台の足踏みミシンを持っています。)

- ・デニス 21歳 (最終学歴: 高校2年まで)
- ・アリス 20歳 (最終学歴: 小学校4年まで)
- ・パスカーナ 19歳 (最終学歴: 小学校5年まで)



ニーズや将来希望すること

- ・自分のミシンが手に入れば、縫製の仕事をしたい。
- ・より高いスキルを学びたい。
- ・英語や、コンピュータのクラスがあれば勉強したい。
- ・スキルを身につけ、将来は独立して働きたい。

◆編み機教室

(9台の編み機をもっています。日本から寄付されたものもあります。)

- ・オルディス 22歳(最終学歴:小学校6年まで)
- ・フライディ 18歳(最終学歴:中学1年まで)
- ・アタナンスィーヤ 21歳(最終学歴:中学3年まで)
- ・フィリップ 22歳(最終学歴:小学校5年まで)



ニーズや将来希望すること

- ・卒業生グループで働きたい。
- ・より高いスキルを学びたい。
- ・英語や、コンピュータのクラスがあれば勉強したい。
* 特に英語クラスの希望者が多い。
- ・将来コーポラティブとして働きたい。

◆サロンクラス

2009年設立、2010年1月にヘアサロンを開店(下写真)。

- ・エディット 17歳(最終学歴:中学校3年まで)サロンの責任者
- ・ピース 18歳(最終学歴:小学校6年まで)
- ・ジャスティン 20歳(最終学歴:小学校6年まで)
- ・ジョイ 17歳(最終学歴:小学校6年まで)
- ・ジョフィア(最終学歴:中学校2年まで)



ニーズや将来希望すること

- ・ より高いスキルを学びたい。
- ・ 独立したい。
- ・ 英語のクラスや、コンピュータのクラスがあれば勉強したい。

◆卒業生組織・ハグルカ

2008年設立

ニラジェジェンで子供用の衣服などを売るお店を開いています。



ハグルカの運営するお店。
ピースビルダーズのスタッフと。



編み機教室の卒業生が中心で、
現在も制作した商品を販売しています。
その制作には、IHMの編み機を借りて
使用しています。
約15人のメンバーがいますが、
中心メンバーの5人にインタビューしました。

- ・グレッティ 21歳(最終学歴:中学校3年) 子供3人の母親
- ・ベティ 23歳(最終学歴:中学校3年まで)
- ・アネッティ 25歳(最終学歴:中学3年まで)
- ・ペイシェンス 30歳
- ・ジョイス 22歳(最終学歴:中学2年まで) IHMのスタッフ

ニーズや将来希望すること

- ・より高いスキルを学びたい。
- ・編み機のデザインマシーンを購入して、仕事の幅を広げたい。
- ・英語のクラスや、コンピュータのクラスがあれば勉強したい。
- ・日本の市場を見てみたい。
- ・ルワンダでニット産業を興したい。

職業訓練教室の生徒や、コミュニティの人々にインタビューした結果、次のような課題・ニーズがあることがわかりました。

◆職業訓練教室の運営

教室は、生徒の支払う授業料や、教室の受注する商品（たとえばニット教室では、学校の制服用のセーターの注文が入ることがあり、ミシン教室へはピースビルダーズからエコバッグを注文することがあります）による利益などをもとに運営されていますが、資金調達に最も苦労しています。

出費の例

- ・教室、サロンの家賃(15,000FRW/月)
- ・先生の給料(15,000FRW/月～)
とくに現在は、この給料で教えてくれるサロン教室の教師が見つからない問題を抱えています。
- ・教室に必要な道具類の不足（裁ちばさみは右手用1丁のみ）

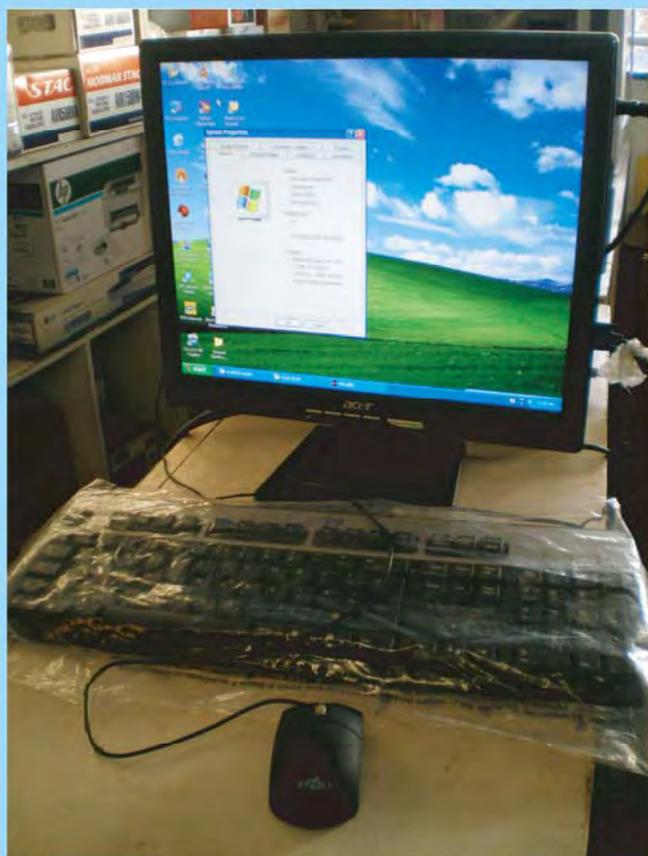


右手用の裁ちばさみを使う左利きの生徒

◆8月の電気開通に際して、コンピュータを

職業訓練教室で、生徒やスタッフから目立った需要はコンピュータ。
現在、職業訓練教室のあるニラジェジェンには電気が通っていませんが、
2010年8月には開通する予定です。

現在、日本とのやりとりには専ら電気が通っている地域での
有料のインターネットスペースを利用しています。
コンピュータがあれば、より日本などの海外とのやりとりが容易になり、
生徒へのパソコンスキルの提供や、
教室のサポーター探しの広がりも期待できます。

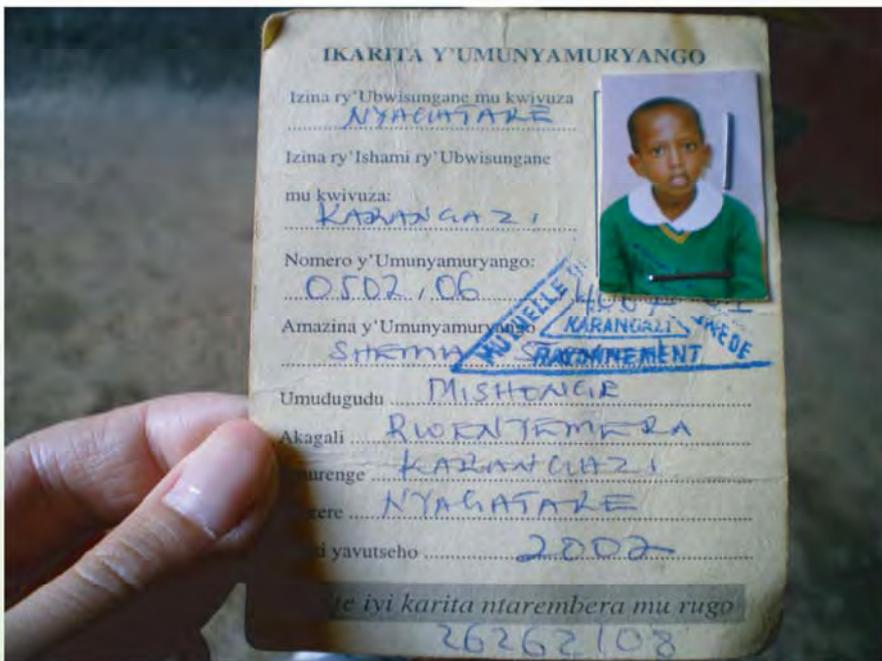


キガリで価格を調査した結果

パソコン 320,000FRW～
プリンター(スキャナ、コピー付) 60,000FRW～
計 380,000FRW (65,000～70,000円)

◆医療

ルワンダでは、年間1000FRW(約200円)支払うと、下のようなヘルスカードが支給され、医療費の10%の負担で治療を受けることができます。しかし、その1000FRWが支払えない人も多いのが現状です。1人分の1000FRWは大きな金額でなくても、家族が多いと現金収入の少ない家庭には大きな出費になります。職業訓練教室でも、約半数の生徒がカードを持ったことがありません。



年間1000FRW払うとこのようなヘルスカードが支給され、これをセクターごとにある病院で提示します。

日本からできるサポート

職業訓練教室とそのコミュニティの人々は様々な課題やニーズを抱えています。職業訓練教室の支援を通してそれを日本からサポートしていくにはどのような方法があるのでしょうか。

◆アイデア1

教室でマーケティングの基礎「品質管理」を学んでよりクオリティの高い商品を生産する。

生徒やコミュニティの抱える課題の解決のためには、資金面から職業訓練教室の運営を安定させることが重要です。

資金面の対策のひとつとして、現在ピースビルダーズが行っているような、教室で制作された商品を材料費や人件費に見合う適正な価格で輸入し、売り上げを還元する試みが挙げられます。

これは生徒のスキルアップにもつながるため、今後も力を入れていく必要があります。そのためのキーワードとなるのはクオリティと品質管理です。

商品の原材料費を含め、物価が高く、国内外での輸送費もかさむルワンダ。

日本でルワンダの商品を販売するにあたって、どうしてもその価格は高くになりがちです。中国などからの安価で、ある程度品質もよい商品があふれる日本市場の中で、ルワンダの商品を受け入れてもらうためには「価格に見合う品質」を確保することがとても大切です。

職業訓練教室で、日本など先進国の市場でも受け入れられる品質を目指すことによって、より高品質な商品の生産や、ひいてはルワンダ国内で産業を興すことにもつながっていくと期待できます。

◆教室の運営スタッフに向けたワークショップ

職業訓練教室の運営スタッフの皆さんに向けて、日本の消費者の声や、日本市場の紹介、これまで送られてきた商品(ピースバッグ)で、汚れや縫い目のほつれなど、品質に問題のあったものを紹介し、品質の改善とより良い職業訓練のために何ができるかを考えるワークショップを行いました。

また、品質管理や商品開発などのマーケティングの基礎を授業に加えることについて意見を聞きました。



ワークショップの様子

◆運営スタッフの皆さんと交わした意見

ピースビルダーズのスタッフから

- ・日本人が商品の品質に非常に厳しく、小さな汚れや縫い目のミスがあっても販売できないことを写真や実物の商品などを使って説明。
- ・生徒にマーケティングの基礎を授業で教えることの実現可能性を聞く。
- ・不良品の納品を防ぐ対策についての意見を聞く。
- ・IHMから日本、ピースビルダーズに期待すること。

IHMのスタッフから

- ・現在も生徒に商品を丁寧に扱うことなど、基本的な品質管理については教えているが、それに加えて日本の品質管理の厳しさについて伝えるようにする。
- ・しかし、マーケティングの基礎知識を授業に取り込むことに関しては、専門に教えらる先生がいないので今の時点では難しい。
- ・日本からの要望を元に、生徒の作った商品を卒業生にチェックしてもらうようにする。
- ・職業訓練のノウハウのある組織から運営についてのアドバイスがほしい。
- ・現在ピースビルダーズ向けにミシン教室のピースバッグを輸出しているが、ニット教室で作る子供向けの衣服や雑貨の需要も知りたい。
- ・日本で商品を販売する際に、職業訓練教室支援につながっている意義をしっかりとアピールしてほしい。

◆アイデア2

日本国内でサポーターを募る

職業訓練教室で作られた商品の販売を通して、利益を還元することも重要ですが、より早く現地のニーズを反映させるためには、支援者を募ることも大切です。商品のフェアトレードを通じた、IHMの活動紹介や、日本の消費者の啓蒙、サポーター探し、各種助成金への応募などが考えられます。

今回の調査で、特に次の案件に対して、支援の必要性が見られました。

セカンダリースクール(中学・高校)支援

現在、元青年海外協力隊員の方が、IHMの代表であるカバシंगा・ファティアさんと協力して、進学を希望しながらも経済的に難しいルワンダの学生のために日本で支援者を募り、学費を提供するプロジェクトを実施しています。多くの子供が進学を希望する中、より多くの支援者を募る必要があります。

ヘルスカード支援

年間1000ルワンダフランの医療費が払えない人々が多い問題に対して、子供や高齢者など、特に医療を必要とする人々に対して医療費の支援をする必要があります。IHMでは、将来的に支援者が見つければ、是非このヘルスカード支援によってコミュニティをサポートしていきたいと考えています。

職業訓練教室の運営支援

IHMの職業訓練教室には、教室の家賃や教師への給与など、継続的な出費があります。現在は、それらの必要経費を生徒からの授業料や教室が受注する商品の売り上げで賄うのが精いっぱいであり、新しい機械や、教室、コンピュータの購入などの投資ができない状態です。より高いレベルのクラスや、新しいスキルは生徒の多くが希望していることであり、これによって、職業訓練の効果が加速することも期待されることから、海外からの運営支援は大変有効であると考えられます。

これまで、直接「ピースバッグ事業」のカウンターパートであるIHMを訪れることができていませんでした。

日本からメールや電話を中心に現地とやり取りしていた頃は、なかなか連絡がつかないことに不便さを感じたこともありましたが、今回の渡航で、予想していた以上の通信や交通の不便さ、物価の高さなどの問題を肌で感じ、IHMの置かれている環境を理解することができました。

今後のやりとりでは、今までよりも現地の状況を理解し、配慮することができるでしょう。

また、直接IHMのスタッフや生徒の皆さんと会うことで、お互いを知り、信頼関係を築くことができました。

今後はこれまで以上に密に連絡を取り合い、よりよい職業訓練のための意見を交わしていけると考えています。

また、今回の渡航で、ルワンダの若者の、手に職をつけたい、ルワンダに産業を興したいといった未来へのヴィジョンを知ることができ、今後の継続的な支援の必要性を改めて感じました。

IHM代表、カバシंगा・ファティアさんからのメッセージ

こんにちは。

私たちはルワンダで活動している
インターナショナル・ヒーリング・ミニストリーズ (IHM) です。
私たちはここで編み機教室、ミシン教室、
ヘアサロン教室を運営しています。

今回、日本から2人の友人を迎えることができ、
とてもうれしく思っています。

はるばる海外からIHMを訪ねる目的で来てくれたのは、
ピースビルダーズがはじめてです。
このことは、IHMにとっても素晴らしい機会です。

私たちはピースバッグプロジェクトを通して出会いましたが、
このプロジェクトは今後大きく成功しつつあります。

ピースビルダーズと
今回の渡航を支援してくださった支援者の方々、
日本の外務省に感謝します。





特定非営利活動法人ピースビルダーズ

Tel 082-247-0645 Fax 082-247-0645

〒730-0051 広島市中区大手町3-8-3

<http://www.peacebuilders.jp/>